

平成30年度3学期終業式（平成31年3月20日）

3年生が卒業し、1年生と2年生の3学期終業式を行いました。本日は、大阪教育大学府立高校教育コンソーシアム作文コンクールでの佳作受賞、第58回大阪府立高等学校保健研究発表大会、卓球部の団体男子、女子硬式テニス部、女子軟式テニス部に表彰を伝達し栄誉をたたえました。

3学期終業式校長式辞

皆さん おはようございます。

本日は、平成30年度3学期の終業式です。

2月28日には、3年生の卒業式が行われました。317名の先輩が本校を巣立っていきました。卒業した3年生は、学校行事や部活動において素晴らしい活躍をしてくださいました。また、途中経過にはなりますが、大学受験もよい報告を受けています。

是非、皆さんも卒業した3年生の見習うべきところはしっかりと見習って、清水谷の伝統を引き継いでいてもらいたいと思います。

卒業式では、京都大学特別教授の本庶佑（ほんじょ たすく）さんについて、お話ししました。先生は、がん免疫療法を開発されたことが高く評価され、今年度ノーベル医学生理学賞を受賞されました。京都大学IPS細胞研究所所長の山中伸弥（やまなか しんや）さんは、本庶佑さんについて「私も6年前に同じ賞をいただいたが、本庶先生は既に何万人もの患者を救っている治療に対しての受賞。私は将来役に立つかもしれないこれからの技術で受賞したので、意味も重さも違う」と述べています。その本庶さんは、大学進学に際し、外交官、弁護士、医師の3つで進路を悩んだようですが、「医学で研究者になることが最も人の役に立てそうだ」と京都大学医学部に進まれました。

受賞後の記者会見では、「一番重要なのは何かを知りたいという好奇心。教科書に書いてあること、文字になっていることを信じない、疑いを持つこと」と答え、有名な論文雑誌も疑う対象の例外ではないと強調され、「自分の目で物を見る、そして納得する。そこまで諦めない」と述べ、多くの後進が研究の道を志すことを期待していると話されました。

次年度、2年生は卒業年度を迎えます。部活動の最終目標に向かって頑張る年になります。また、希望する進路に向かってのラストスパートをかける年になります。1年生は次年度、部活動の中心学年となります。しかし、よく言われるのが「中だるみ」になりやすい1年でもあります。

短めの春休みですが、皆さんが事故なく全力を発揮することを期待しまして、終業式のあいさつとします。